

## 藤縄議員要望項目一覧

### 令和5年度11月補正分

要望項目	左に対する対応方針等
<p>1 「鳥取うみなみロード」のナショナルサイクルルート指定について            県は令和4年度、観光部局にサイクルツーリズム振興室を組織するなど、県を挙げてサイクルツーリズムの強化に努めてきたところである。            また、令和4年度に策定した「鳥取うみなみロード整備計画」に基づき、今年度はハード・ソフトにわたり整備を加速していこうとしているところであるが、次期ナショナルサイクルルートの指定に向けて万全の対策を講じていただきたい。</p>	<p>官民が連携して昨年度策定した「鳥取うみなみロード整備計画」に基づき、矢羽根やピクトグラムなどの路面表示の整備、交通結節点におけるサイクリング拠点施設整備、ホームページの多言語化などを進めている。            11月補正において、令和6年度に予定していたこれら道路整備の前倒し実施を検討しており、次期ナショナルサイクルルートの指定に向けた準備を引き続き進めていく。  <b>【11月補正】</b>            ・サイクリストの聖地鳥取県整備事業（サイクルツーリズム推進事業） 49,300千円</p>
<p>2 山陰海岸ジオパークの世界認定について            令和4年12月、山陰海岸ジオパークはユネスコの再認定審査において、2年間の条件付き再認定（イエローカード）という厳しい結果となった。            鳥取県はもちろん京都府・兵庫県を含むジオパークエリアにとって、山陰海岸ジオパークは地域再生の切り札ともいえる地域の貴重な財産である。            そうした中、去る10月10日～12日に、日本ジオパーク委員会の事前確認があり、前回の再認定審査の指摘事項に対する進捗状況について講評をされたところである。            ついては、これらの評価・指導等を踏まえ、来るべき世界審査において正式認定が受けられるよう万全の対策を講じていただきたい。</p>	<p>本年5月に明らかとなった鉱物販売中止や推進体制の独立性などの指摘事項について、山陰海岸ジオパーク推進協議会（以下「協議会」という。）が設置した関係自治体で構成する対策検討会議や担当課長会議等において、議題ごとに対応を進めているところであり、事前確認を頂いた日本ジオパーク委員会からも「再認定審査に向けて地域の様々な主体が一体となって取り組んでいることが確認できた。」との評価を頂いたところである。            来年夏頃予定されている世界審査で確実に再認定となるよう、引き続き、日本ジオパーク委員会等の助言を得ながら、協議会、構成自治体と連携して課題解決に取り組んでいく。</p>
<p>3 台湾と鳥取砂丘コナン空港を結ぶチャーター便の充実と定期便就航の実現に向けて            県と台湾台中市で2018年に締結した友好交流協定が今年で5周年を迎えるなど、台湾との関係に新しい展開が期待される時期を迎えようとしている。            そうした中、去る10月28日、コロナ禍のため滞っていた台湾からのチャーター便が4年ぶりに復活し、桃園空港から158席満席のチャーター便が鳥取砂丘コナン空港に到着した。アフターコロナのこの機を捉えて、充実したチャーター便の運航に取り組んでいただきたい。            更に、チャーター便の成功を契機として、航空会社・旅行会社等関係機関と連携して、台湾との定期便就航の実現に努めていただきたい。</p>	<p>まずは早期の長期チャーター便実現に向けて、引き続き、航空会社や旅行会社と調整を進めていく。併せて台湾最大規模の台北国際旅行博（ITF）への出展や「鳥取県観光PR大使」によるSNSを活用したプロモーション、旅行社やメディア・インフルエンサーを招へいしての視察ツアーなど、四季を通じて、本県の豊かな食や自然などを積極的に情報発信して知名度向上を図り、チャーター便の実績を積み上げることで1日も早い定期便就航を実現する。  <b>【11月補正】</b>            ・国際定期便再開・新規就航に向けた緊急対策事業 15,000千円</p>